

株式会社扶桑技研

SDGsの取組

取組・活動内容	<p>株式会社扶桑技研は、主に航空機や自動車関連の製造用部品搬入に必要な緩衝容器を3DCADでの設計・試作・量産まで一貫して対応し、お客さまの様々なニーズにお応えしております。今回、生産性の大幅な向上を図るべく、技術革新として先端の設備を導入して経営指標の向上に努めます。また、会社の大事な財産である社員の知識や技能の向上を図るため、資格取得等の取り組みにも挑戦していきます。そして、紙資料の電子化や産廃材のリサイクル推奨といった環境への配慮にも取り組み、SDGsを達成するため尽力いたします。</p>		
	目指すゴール	取組・活動内容とゴールとの関係	目標
	経済 8	先端設備を導入し、作業効率の改善と生産性の向上に取り組む。	経営指標の目標 付加価値額10%の伸び率向上。 (2025年7月までに)
	社会 4、5	社員を対象に、資格や職業的スキルを学ぶ機会を創出し、勤労意欲の向上に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> ・全社員のフォークリフト等現場作業に必要な公的免許の取得。 ・全社員の3DCAD等設計作業に必要な職業スキルの習得。 (2030年7月までに)
環境 12、14	<ul style="list-style-type: none"> ・社内デジタル化を推進し、紙資源の削減に取り組む。 ・生産工程で発生する端材のリサイクル推奨に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社内の紙資料の電子化。 (2030年までに50%削減) ・デュラウッドなどの材料端材のリサイクル化 (2022年 0%→2030年 20%) 	